

**令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定
岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会**

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 青森市 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

○防災情報システムの整備

災害対策本部において迅速な対応を行うため、情報の収集・把握・共有機能を有するクラウド型の『青森市防災情報システム』を整備しました。

《主な機能》

①被災情報管理機能

一つの電子地図に被害状況を入力し、市職員が撮影した災害現場からの写真や避難所、ハザードマップを重ねて表示し、災害状況の全体像を地図上で把握。

②避難所及び避難者情報管理機能

避難所の開設状況や避難所へ避難した住民の住所等をシステムに入力することで、避難所と災害対策本部との間で避難所の様子や避難者の人数などを共有でき、避難所運営業務を円滑に行う。

③備蓄物資管理機能

備蓄物資の入出数をシステムに入力し、在庫管理を行うことで、不足物資の把握を迅速に行い、他自治体等への要請が円滑に行われる。

○自主防災組織の育成

県と連携し、自主防災組織間の横のつながり(ネットワーク)を構築するための研修会を開催しました。

【災害対策本部】



【令和2年度の主な取組み予定】

○防災拠点機能の強化

令和元年度に防災活動拠点施設及び防災活動拠点施設のバックアップ施設の見直しを行ったことを受け、令和2年度から備蓄物資の強化拡充を行います。

⇒ 備蓄物資の拡充(13,000人分⇒20,000人分の物資を令和2年度から令和5年度までの4年間で整備)

⇒ 備蓄品目の拡充(乳児用として粉ミルクに加え、液体ミルクを300缶試験導入)

○避難所の整備

⇒令和元年度に引き続き、バックアップ施設(中学校)等に整備している市街地表示式避難地案内板を災害対策基本法に基づく避難所標識板に更新します。

⇒市内全ての洪水予報河川及び水位周知河川の新たな浸水想定区域が公表される予定であることから、避難所指定(指定避難所及び指定緊急避難場所)の見直しを行い、ハザードマップの作製に着手します。

○自主防災組織の育成

令和元年度に引き続き、県と連携した自主防災組織間の連携を構築するための研修会を開催するほか、市町会連合会と連携した自主防災組織未結成を対象とした講習会を開催し、自主防災活動の活性化を促進します。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 弘前市 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

○岩木川浸水想定区域内の避難場所2箇所に看板を設置

○県管理河川の浸水想定発表後、新たな洪水ハザードマップの作成着手

- ・想定最大規模を反映させた避難対象地区と推定避難者数、指定緊急避難場所、指定避難所の抽出
- ・浸水想定区域内にある要配慮者施設の再確認及び、関係所管課と連携し、避難確保計画作成・避難訓練実施について指導

○備蓄品の指定避難所（市内小中学校※一部除く）への配備完了

○防災マイスター育成講座、出前講座等で、新たに運用された避難勧告等の発令基準および浸水区域を含む防災知識の普及、地域防災力の継続的な強化



避難場所看板
(令和元年度設置)



令和元年度防災マイスター
育成講座の様子

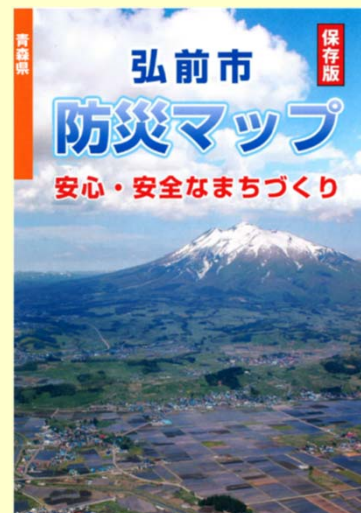
【令和2年度の主な取組み予定】

○ひろさき防災マップの完成→市内全戸配布（8月予定）

- ・避難行動判定フロー（マイ・タイムライン）
- ・避難勧告等の発令基準（洪水・土砂災害）
- ・指定緊急避難場所・指定避難所一覧
- ・岩木山火山防災マップ（岩木山火山防災協議会作成）
- ・ハザードマップ（想定最大規模の浸水想定区域・土砂災害（特別）警戒区域等）等を盛りこんだ総合的なマップ

○「弘前圏域8市町村国土強靱化計画」の策定（12月予定）

○毎年実施している総合防災訓練方式→新型コロナウイルスを踏まえ、三密を避けた少人数での個別訓練・対応訓練実施



完成予定の防災マップ（案）



実動訓練も総合型ではなく、
個別の訓練を想定

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 黒石市 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

- ・市内の自主防災組織が行う普及啓発活動及び防災資機材等の整備に対し、災害対策費の一部（上限1団体5万円）を助成したほか、防災士資格を取得するための経費も助成。（上限1団体5万円）
- ・市総合防災訓練において水防工法訓練を実施。



【令和2年度の主な取組み予定】

- ・洪水ハザードマップ（十川）の作成及び対象区域への説明会等を実施。
- ・市内の自主防災組織が行う普及啓発活動及び防災資機材等の整備に対し、災害対策費の一部（上限1団体5万円）を助成するほか、防災士資格を取得するための経費も助成。（上限1団体5万円）
- ・市総合防災訓練において水防工法訓練の実施。

五所川原市 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

- ・ 防災専門部署の新設
災害対応、防災体制を強化するため、H31年度から防災管理室を創設し、五所川原地区消防事務組合から当室へ職員を派遣。
- ・ 市災害対策図上訓練の実施
前年度に引き続き、市職員の災害対応能力の向上を目的として令和2年1月30日に図上訓練を行い、市関係部局の情報伝達体制の確認や見直しを行った。



- ・ 防災行政無線整備事業（2箇年事業）
災害発生時の情報伝達力の強化を目的として、市浦地区内陸部、金木地区の防災行政無線の整備を行う。
- ・ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成フォローアップ
市内浸水想定区域内の施設に計画作成を促し、対象となる123施設中100施設が策定済
(平成30年度末は84施設)

【令和2年度の主な取組み予定】

- ・ 防災専門部署の体制強化
昨年に引き続き災害対応、防災体制を強化するため、令和2年度から防災管理課を創設し、人員を増加するとともに五所川原地区消防事務組合から当課へ職員を派遣。
- ・ 市災害対策図上訓練、県総合防災訓練の実施
前年度に引き続き、市職員の災害対応能力の向上を目的として市災害対策図上訓練を行う予定。
また、青森県総合防災訓練の主会場として訓練の開催に向けて関係機関と調整を進めている。五所川原市の災害特性として、水害と地震災害を想定した訓練を行う。
- ・ 洪水ハザードマップの更新
現在のハザードマップを最新の浸水想定に更新予定。
- ・ 防災行政無線整備事業
災害発生時の情報伝達力の強化を目的として、市浦地区内陸部、金木地区の防災行政無線の整備を行う。
年度内に整備予定。



つがる市 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

- ・ 町内会ごとに新規設置される自主防災組織（水防活動含む）の資機材購入費の一部（上限50万円）を助成し、地域の自主防災組織の取り組み強化を継続する。
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練を促進する。
- ・ 防災教育や防災知識の普及のため出前講座等を活用した講習会を実施する。
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険個所の確認等を実施する（合同巡視）。
- ・ 水防工法訓練において水防団の水防技術の向上を図る。

【令和2年度の主な取組み予定】

- ・ 町内会ごとに新規設置される自主防災組織（水防活動含む）の資機材購入費の一部（上限50万円）を助成し、地域の自主防災組織の取り組み強化を継続する。
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練を促進する。
- ・ 防災教育や防災知識の普及のため出前講座等を活用した講習会を実施する。
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険個所の確認等を実施する（合同巡視）。
- ・ 水防工法訓練において水防団の水防技術の向上を図る。



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 平川市 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

○避難所設置・運営訓練

市内小学校を会場に9月7日、平川市避難所運営マニュアルに基づき、自主防災組織を主体とした避難所設置・運営訓練を実施し、市担当部局及び自主防災組織の対応能力の向上並びに意識高揚を図った。

(参加者数約60名)



○指定避難所への備蓄食糧等の配備

市内小中学校に毛布・マット・食料等を配備

(H29開始～R1完了)

○自主防災組織による防災倉庫設置を促進

自主防災組織3団体の『防災倉庫』設置費に対し補助金を交付し、設置促進を図った。

(補助率10/10 上限300千円 ※H29開始 R2完了予定)

○地域防災拠点施設と災害備蓄物資の整備

発災時の地域防災力による応急対策を、関係機関と連携し迅速かつ的確に行えるよう、新たに整備した市民体育館(ひらかわドリームアリーナ)を地域防災拠点として位置づけし、併せて災害備蓄物資を配備。

(地域防災拠点備蓄整備:3ヵ年計画 R1開始 R3完了予定)

【令和2年度の主な取組み予定】

○新たな洪水ハザードマップの作成

浸水想定区域の見直しに伴い、想定最大規模による被害想定を反映させた新たな洪水ハザードマップを作成し、市民に周知。

また、浸水想定区域内の自主防災組織と連携し、今後の『避難体制』及び『避難経路』についての検討会を実施する。



○碓ヶ関地域防災訓練

碓ヶ関地域を対象とした防災訓練を実施予定

○自主防災組織による防災倉庫設置を促進

自主防災組織2団体の『防災倉庫』設置費に対し補助金を交付し、設置促進を図る。

(補助率10/10 上限300千円 ※H29開始 R2完了予定)

○備蓄食糧等の整備・管理

市内小中学校及び孤立集落の備蓄食糧を更新。また、地域防災拠点施設へ避難所用マット・食料等を配備。

(地域防災拠点備蓄整備:3ヵ年計画 R1開始 R3完了予定)

○備蓄土のうの更新

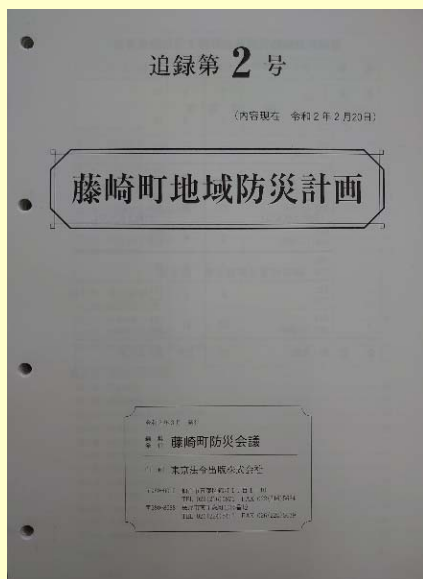
地域防災拠点
(ひらかわドリームアリーナ)



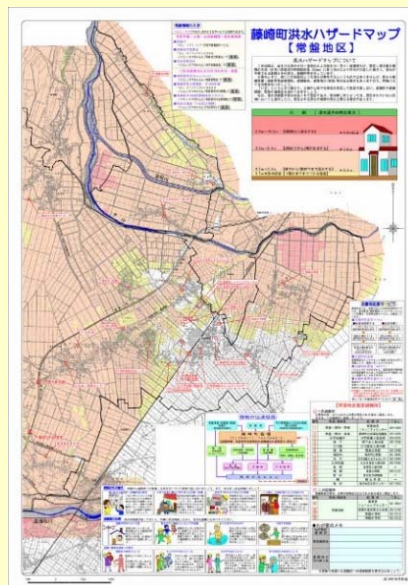
岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 藤崎町 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

- ・ 水害に備えた町防災訓練の実施
- ・ 藤崎町地域防災計画の改訂
- ・ 洪水ハザードマップ（十川・浪岡川）の作成及び町民向け地域座談会の実施
- ・ 自主防災組織体験研修会の実施
- ・ 防災士育成事業補助金を活用した防災士の育成



藤崎町地域防災計画



洪水ハザードマップ

【令和2年度の主な取組み予定】

- ・ 町防災訓練の継続実施
- ・ 防災行政無線設備機能強化工事の実施
- ・ 自主防災組織体験研修会の開催
- ・ コミュニティ助成事業（地域防災組織育成事業）を活用した自主防災組織の防災備品の整備
- ・ 防災士育成事業の継続実施



自主防災組織体験研修会（令和元年12月20日実施）

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 板柳町 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

【令和元年7月14日 五所川原市で行われた水防工法訓練に参加】



【その他水防活動用資機材の整備・点検、無線機器の点検を継続的に実施】

【令和2年度の主な取組み予定】

【令和2年度も水防工法訓練に参加予定】

【その他水防活動用資機材の整備・点検を継続的に実施】

【水防活動時における連絡体制の確保をはかるための通信機器の増強を検討】

【最大想定規模に対応したハザードマップに更新予定】



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 鶴田町 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

- ・ 岩木川水系十川ハザードマップ作成。
- ・ 地域防災計画修正。
- ・ 非常用飲料水 555ml×2,400本を備蓄。



【令和2年度の主な取組み予定】

- ・ 地域防災計画の見直し検討。
- ・ 福祉事業所向け研修会開催。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 中泊町 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

●消防団が岩木川水系水防工法訓練への参加（7月14日）

- ・岩木川沿いの消防団に水防工法訓練へ参加してもらい、大規模水害時の対応方法を学んでいただいた。



●令和元年中泊町防災訓練の実施（8月31日） （岩木川沿いの自治会を対象とした洪水避難訓練）



- ・岩木川の洪水を想定した避難訓練を実施。避難行動要支援者の課題が残ったが、自主防災組織の結成を検討していただくきっかけとなった。

●中泊町防災フォーラムの開催（10月26日）

- ・町民文化祭に併せて防災フォーラムを開催。台風19号（10月10日～13日）の話題を盛り込み、住民避難の重要性、避難を判断する方法などを話し合った。



【令和2年度の主な取組み予定】

●青森県防災危機管理課の事業を活用し、研修会の開催（9月25日予定）

- ・風水害を対象とした研修会を開催し、地域住民の意識向上を目的とする。



●小泊地域で講演会の開催（予定）

- ・平成29年に滝本先生による講演会を開催しているが、それ以降小泊地域で開催したことがないため、開催を予定。

●避難所運営に関する研修会の開催（予定）

- ・中泊町内の防災士協力のもと、地域住民や町職員向けに避難所運営ゲーム（HUG）を体験してもらう研修会を開催予定。避難所運営を学んでもらい、災害時に自助・共助により運営できることを目的とする。

●その他、各自治会を対象とした研修会（図上訓練等）

- ・各自治会を対象として図上訓練等を活用し、その地域の課題や避難経路を確認してもらうことを目的とする。

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会 大鰐町 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

- ・大雨、台風に係る水害対応の際に、町のみではなく、水防団である町消防団と綿密に連絡を取り合い、町内の警戒、パトロール及び情報収集を重点的に行った。
- ・令和元年度は、大鰐町総合防災訓練で、町職員の土のう作成の技術力の向上を図るため、消防団員を筆頭に、合同で土のう作成を行った。



【令和2年度の主な取組み予定】

- ・令和2年9月に開催予定の大鰐町総合防災訓練で、関係機関と連携した水防訓練を実施し、各機関との連携や水防工法の確認を行う。
- ・出水期の水害対応に備え、水防団である町消防団との連携を強化し、綿密な町内の警戒、パトロール及び情報収集を継続する。



田舎館村 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

- ・ 田舎館村地域防災計画の見直し
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険箇所の確認等（合同巡視）を実施する。
- ・ 水防団員の連絡体制の強化をはかる。
- ・ 自主防災組織の新規設立をサポート。
- ・ 水防活動用土のうの作成、備蓄。



【令和2年度の主な取組み予定】

- ・ 想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知。
- ・ 関係機関と連携し、地域住民や水防団員とともに危険箇所の確認等（合同巡視）を実施する。
- ・ 水防団員の連絡体制の強化をはかる。
- ・ 自主防災組織の新規設立をサポート。
- ・ 水防活動用土のうの作成、備蓄。

西目屋村 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

《非常食の購入》

- ・ 防災食（さば味噌煮） 150 g × 50袋
- ・ 防災食（野菜カレー） 200 g × 60袋

【令和2年度の主な取組み予定】

《水防訓練の実施》

令和2年7月～8月に西目屋村消防団及び弘前市消防団第5方面団東目屋地区団合同による水防訓練を実施予定。

《水防資機材の購入》

土のう袋の購入 100袋（予定）

《非常食の購入》

- ・ アルファ化米 60袋
- ・ 乳幼児ミルク（スティックタイプ）
10本入り×10箱

青森県河川砂防課 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

○簡易型河川監視用カメラの設置【着手】

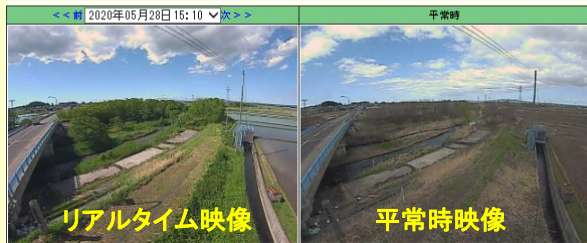
- ・住民避難や水防活動に資する基盤整備として、簡易型河川監視用カメラを県管理河川66箇所を設置完了うち、岩木川流域は10河川11箇所に設置

簡易型河川監視用カメラ設置箇所



カメラ映像 独撮 最新の状態に更新 >>カメラ設置箇所

局名	独撮	河川名	後長根川
所在地	弘前市大字町田沖田	所轄	中津地境県民局



「青森県河川砂防情報提供システム」カメラ映像 URL: <http://www.kasensabo.bousai.pref.aomori.jp/>

<簡易型河川監視用カメラ設置河川>

市町村	設置河川
青森市	大釈迦川・赤川・本郷川
弘前市	後長根川・土淵川・寺沢川・腰巻川
藤崎町	十川
中泊町	宮野沢川
大鰐町	平川2箇所

簡易型河川監視用カメラ



【令和2年度の主な取組み予定】

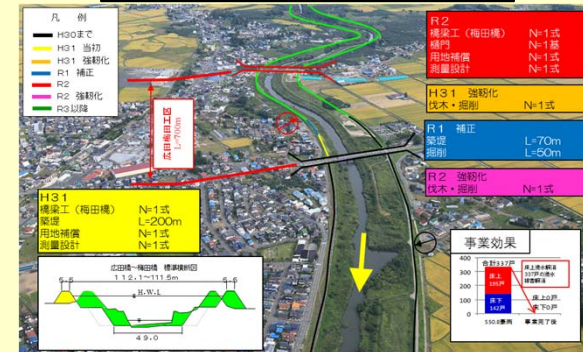
○簡易型河川監視用カメラの設置【継続】

- ・令和2年度は、大蜂川、加藤川、新土淵川、引座川、大和沢川、三ッ目内川、今泉川、薄市川、山田川、相内川の10河川10箇所に設置予定

○治水ハード対策の推進【継続】

- ・平川広域（引座川、大和沢川）、旧十川、十川において広域河川改修事業を継続実施

岩木川水系十川 広域河川改修事業



○重要水防箇所等の合同巡視【継続】

- ・水防団、水防管理団体（市町村）及び河川管理者（県）等による河川の合同巡視を継続実施
- ・令和2年度は、平川外24河川で実施予定

○緊急排水計画の策定【継続】

- ・平川において、想定最大規模降雨及び計画規模降雨時に早期に氾濫水を排除するための緊急排水計画を検討

緊急排水状況のイメージ



【令和元年度の主な実施内容】

○防災教育や防災知識の普及

- ・人口減少に対応できる地域防災体制を構築するため、次代を担う子どもたちを対象とした防災教育活動支援ツール制作に係る有識者会議を実施
- ・防災全般に関する出前講座を計12回開催
(1,142人聴講)
- ・自主防災体験研修会を計11回開催



○市町村が実施する訓練の支援等

- ・7月26日に深浦町、12月18日に六戸町、2月15日に田子町で河川の氾濫や土砂災害を想定した災害対策本部図上訓練を実施

○市町村に対する避難対策等への支援

- ・避難勧告等に関するガイドラインの改定に伴う警戒レベルの運用開始に伴い、5月27日に市町村向けに説明会を開催
- ・中南、西北、上北地域において市町村職員との地域懇談を開催し、警戒レベルの発令のタイミング等について意見交換を実施

【令和2年度の主な取組み予定】

○防災教育や防災知識の普及

- ・昨年度に引き続き、人口減少に対応できる地域防災体制を構築するため、次代を担う子どもたちを対象とした防災教育活動支援ツール案の作成及び試行を実施し、その結果を踏まえた上でツールを完成させる
- ・昨年度に引き続き、出前講座や自主防災体験研修会を開催

○市町村が実施する訓練の支援等

- ・風水害を想定した市町村災害対策本部図上訓練を実施予定

○市町村が実施する避難対策等への支援

- ・避難勧告等の発令基準作成や避難対策等への助言
- ・情報伝達手段の強化などの避難対策について地域懇談会等において、意見交換・助言等を行う

岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

青森地方気象台 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

地域防災支援を強化します。

平時から緊急時まで、常に地域に寄り添います。

平 時

- 市町村訪問等の「顔の見える関係」の強化
- 災害リスクや気象情報利活用に関する研修・訓練への協力
⇒ 訓練シナリオ作成、ワークショップ、勉強会等
- 地域防災計画や避難勧告マニュアル修正への協力
- 日頃からの予報官コメントやメール等による解説
- 協議会等との日頃からの連携

緊急時

- 台風等説明会
- 予報官コメント、ホットライン
⇒ 利用者の立場に立った、情報提供
- JETTの派遣
⇒ 気象台職員を迅速に派遣

【令和2年度の主な取組み内容】

地域防災力を維持・継続・強化します。

市町村との顔の見える関係の維持・継続、防災に関する知識の普及啓発

首長訪問や出水期前の市町村訪問による市町村との顔の見える関係の維持・継続、自主防災組織や地域住民および児童・生徒等を対象とした防災に関する知識の普及啓発



岩木川等大規模水害に備えた減災対策協議会

青森河川国道事務所 令和元年度主な実施内容及び今後の取組予定

【令和元年度の主な実施内容】

●簡易型河川監視カメラ●流下能力対策（河道掘削）整備の設置

簡易型河川カメラを設置。直轄管理河川において14基設置。（弘前:3基、五所川原・つがる・藤崎・田舎館・鶴田:2基、中泊:1基）



●危機管理型水位計の設置

直轄管理河川において5基設置。（鶴田;2基、弘前・五所川原・板柳:1基）



●出前講座を活用した講習会の実施（2/12）



●洪水対応演習の実施（5/10）



●浸水想定区域図等の使用方法について説明（11/29）



●「洪水に対しリスクが高い区間」の共同点検

水防団や地域住民、防災工キスパート及び行政機関が参加し合同巡視を実施。（7/5・7/9）



【令和2年度の主な取組み予定】

●流下能力対策（堤防・河道掘削）整備



●タイムライン作成の支援

●防災教育の支援

地域での学習会等への講師派遣。



●洪水対応演習（5/15）



●緊急排水計画（案）の作成

排水機場・樋門・水門等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した緊急排水計画（案）の作成を完了予定。

●関係機関が連携した水防訓練の実施

各関係機関及び消防団員等合同で水防工法訓練を実施予定。

